

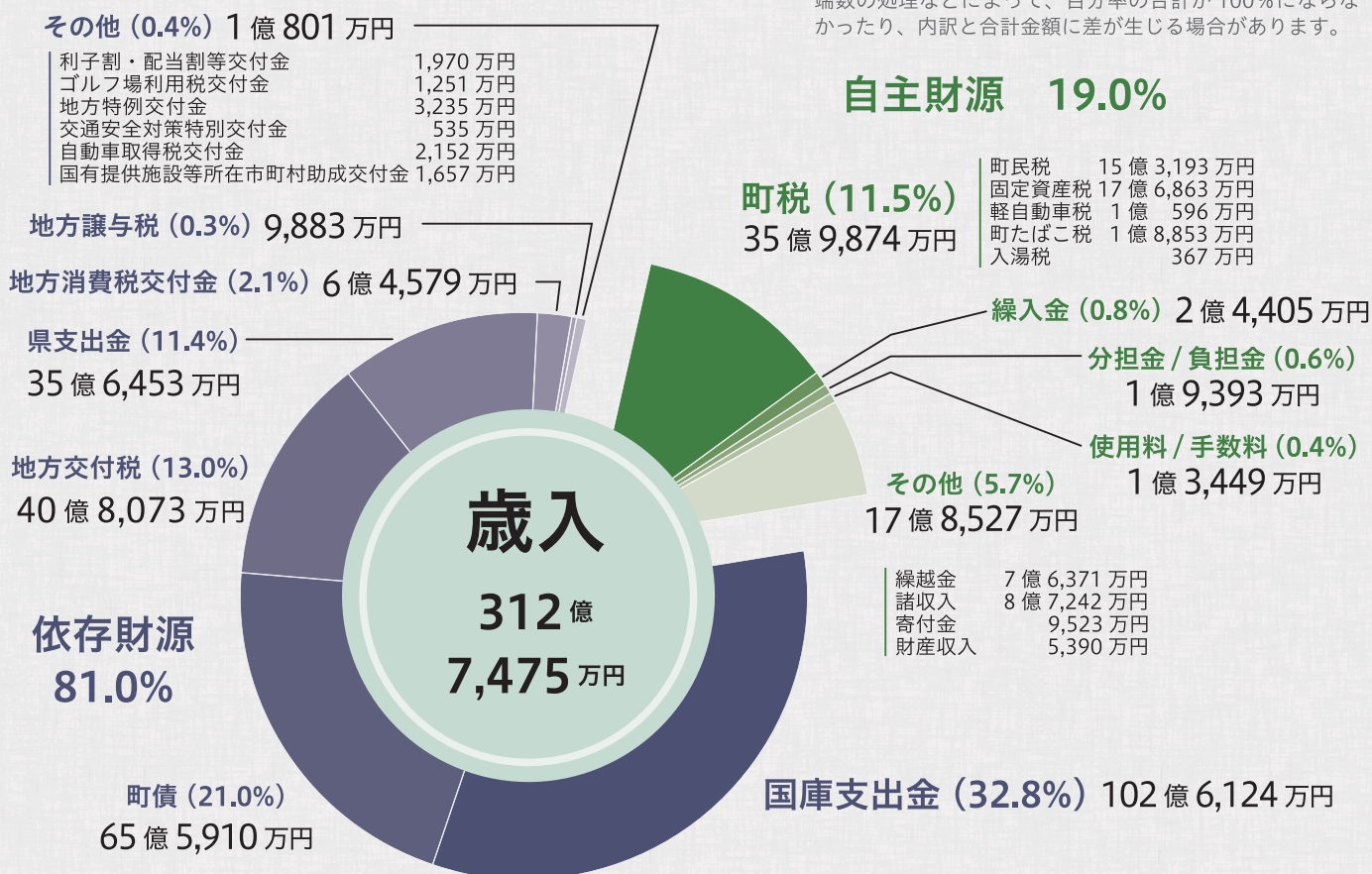
平成 30 年度一般会計の決算は、歳入総額が 312 億 7475 万円で、歳出総額が 302 億 8206 万円。前年度の決算と比較すると歳入が 4.6% の増、歳出が 4.0% の増となっています。歳入から歳出を差し引いた額 9 億 9269 万円から、令和 2 年度へ繰り出す財源 7 億 4069 万円を差し引いた額（実質収支）は、2 億 5199 万円で、黒字となりました。

## 町の財政の健康状態

平成 30 年度

# 決算状況

端数の処理などによって、百分率の合計が 100% にならない場合、内訳と合計金額に差が生じる場合があります。



**自主財源**とは、町が国などに依存せず自主的に収入として得ることができるお金で、町税や繰入金、使用料、繰越金などです。この財源により、自主的な事業を実施できます。

**依存財源**とは、国や県が収集した財源から、町へ交付されたり、割り当てられるお金です。地方交付税や国・県の補助金、町債などを指します。

### 歳入用語の説明

memo

町税…町民税や固定資産税など。  
 繰入金…基金(町の貯金)や特別会計などから繰り入れられたお金。  
 分担金 / 負担金…保育所や公共下水道事業などにより利益を受ける人から納められたお金。  
 使用料 / 手数料…公営住宅の家賃や住民票などの証明発行時に納められたお金。  
 地方交付税…町が等しく行政サービスを提供できるように、一定の基準により国から配分されたお金。  
 国庫支出金 / 県支出金…町の特定事業に対して国(または県)から交付されたお金。  
 町債…町が行う公共事業などの財源として、国や金融機関から借りたお金。  
 地方譲与税…国税として徴収され、一定基準により、国から町へ与えられたお金。  
 地方消費税交付金…地方消費税の一部を、人口などに按分され交付されたお金。

### 各会計歳出決算額比較表

会計区分	平成 30 年度	平成 29 年度	増減率 (%)	
一般会計	302 億 8,206 万円	291 億 2,260 万円	4.0	
特別会計	国民健康保険	35 億 6,803 万円	47 億 1,690 万円	△ 24.4
	後期高齢者医療	3 億 6,650 万円	2 億 7,990 万円	30.9
	介護保険	30 億 5,148 万円	30 億 3,715 万円	0.5
	公共下水道	25 億 2,927 万円	26 億 2,348 万円	△ 3.6
	農業集落排水事業	7,864 万円	1 億 1,266 万円	△ 30.2
小計	95 億 9,392 万円	107 億 7,009 万円	△ 10.9	
合計	398 億 7,598 万円	398 億 9,269 万円	△ 0.0(0.04)	

